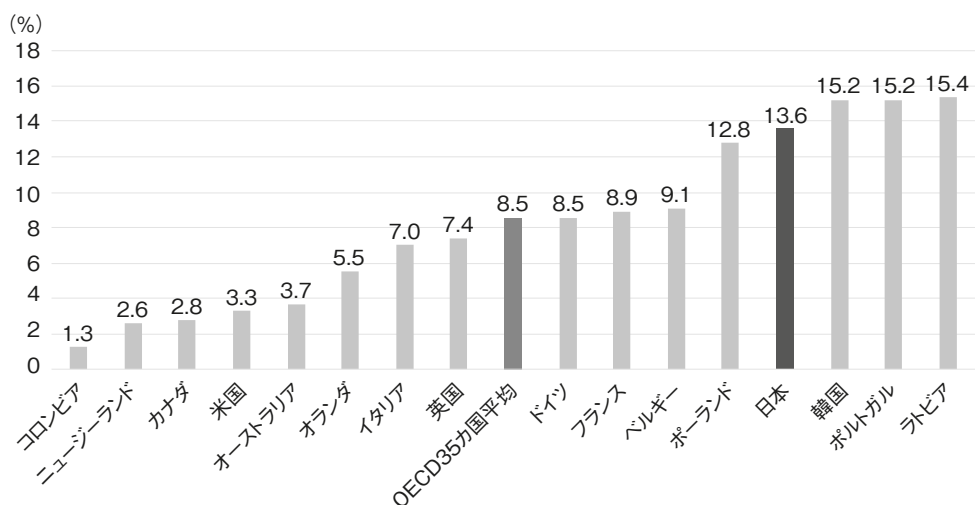


自分の健康状態を低く見積もる人の割合



平均寿命は世界トップの日本。医療体制も整っており、予防可能な原因や治療可能な原因による死亡率は極めて低い。心疾患、脳卒中、がんによる死亡率も低い、肥満率も低い。総じて、日本人は健康な人たちだと言えそうだ。しかし、それに関わらず、日本人（15歳以上）は、自分の健康状態が「悪い」ないし「極めて悪い」と評価している人の割合が多いとされる。ちなみに、日本と韓国は共に1人当たり外来受診回数が多い国である（54巻5号本欄参照）。健康に対する自己評価の低さが影響しているのかもしれない。

OECD「Health at a Glance 2021」より作図